

11/23 早朝

# 論説

2021・11・23

## 日程ありきは避けねば

### 憲法改正論議

憲法改定が実現される日本維新の会  
が衆院選で議席を大幅に増やした  
ついで、改憲を急ぐ議論をす  
野党も活発化しないでいる。しかし  
改憲は堅実の議論とは言ふ難。  
維新が主張する米国式の憲政改憲形  
の改憲議論といつても「日程あり  
りき」の議論は許されない。

自民説は岸田錦織（岸田）

当時、総務省次官記、総務省幹事會  
化、緊急事態法改憲案、参議院の  
合併案などこれまで議論の  
中止され、改憲が実現されず改憲  
の改憲議論の旗を振り立てる大  
勢だと言ながった。

しかし、改憲が必要だ立派な理  
由にして、権力を制限されるとの  
にあわて政府の意が、西の改憲を  
非難し、かくかくめんじくの反対が  
強烈、具体的な政治日程に乗せら  
れなかった。

新たに岸田に就いた岸田文雄議  
員は衆院議員、改憲に因った問題  
範囲を細分化を図りての議  
論には賛同の声だけを取れた。  
改憲の問題は在国会本会議、与野  
党が衆院両院の憲法審査会と議員  
を挙げ替えて議論をめぐらす形で改  
憲を進めるが、改憲は根柢たる勢力  
への配慮とも受け取れる。  
ただ、国民が反対して、維新は皆心  
して改憲議論を引き寄せようとい  
う意見もある。

岸木敏充幹事長は新規口ロナウ  
イルへ改憲議論の拡大を踏まえ、大  
決算特別委員会の権限を一時的に強  
めの臨時委員会を済みの議論を諭  
示に終えた。

しかし、それは改憲を堵ぐ理由  
ではない。政府の「口ロナウル  
が後半で回ったならば、安倍・菅内  
閣ではない。改憲が実現すれば、問  
題がすぐ解決するよからぬ立場を取らなければ  
改憲は理解されない。それが現行憲法下  
で、改憲論を囁つた立場を取らなければ  
いけない状況だからだ。

憲法は修正原稿があり、改憲  
論議自体は始まっているが、改憲し  
なればなぜ國政に縛つて不利感を  
与えやうになれば改憲がおあむのか  
知らぬ既得の既得権利を削除。

田舎では「口ロナウルが後半で改憲対策  
など優先すべき議論が上積じてい  
や。國体の議論構成の変化に伴い  
改憲議論を堵ぐが、既得権利を守  
るものやしきは免れない。

最後の憲法審査会の合意を  
實現したい議論を推す。一部の政  
党が改憲議論を押す、投票を改め  
て改憲議論を回すよりは感を  
犯さないのがだ。